

10 月 21 日：投資家の狼狽売りで、VN 指数は急落

狼狽売りが広がり、大型株が急落したことで週末のベトナム市場は大きく下げた。

ホーチミン市場の VN 指数は前営業日比 38.63 ポイント（3.65%）安の 1,019.82 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン市場の騰落数は、値上がりが 31 銘柄、値下がりが 453 銘柄だった。

売買高は 7 億 4,200 万株、売買代金は 14 兆 6,000 億ドン（5 億 8,790 万米ドル）となった。

VN30 指数は前営業日比 42.69 ポイント（4.05%）安の 1,010.57 ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、1 銘柄が上昇、28 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。

セクター別では、銀行株が大きく売られた。主な値下がり銘柄には、テクコムバンク（TCB）-6.91%、サコムバンク（STB）-7%、軍隊商業銀行（MBB）-6.12%、サイゴンハノイ銀行（SHB）-5.53%、アジアコマーシャル銀行（ACB）-4.45%、ヴィエティンバンク（CTG）-6.88%、VP バンク（VPB）-2.51%、TP バンク（TPB）-2.43%、リエンベトポストバンク（LPB）-6.51%が含まれた。このうちヴィエティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、サコムバンク（STB）は、ストップ安を付けた。

他にもモバイル・ワールド・インベストメント（MWG）-6.85%、SSI 証券（SSI）-6.9%、バオベトホールディングス（BVH）-5.78%、FPT グループ（FPT）-5.01%、カンディエン不動産（KDH）-6.47%、ペトロリメックス（PLX）-5.97%といった大型株が下落した。

「全体的にマーケットを支える投資資金の流入が弱いため、マーケットの回復につながっていない。投資家は新たな投資に対して控えめで、窓開けした 1,063～1,073 ポイント付近からの下押し圧力を恐れている」（ベトドラゴン証券）

「マーケットは閑散相場となり、弱い値動きとなることが予想される。そのため、投資家はマーケットの状態をじっくり観察し、投資を判断するのが良い。それと同時に投資

家は新たな買いを控えるべきで、投資リスクを軽減するためにポートフォリオを再構築することを検討するのが良いだろう」（同証券会社）

セクター別では、全 25 セクター全てが下落した。主な値下がりセクターには、保険、卸売、建設、物流、農業、不動産、小売、水産加工品、建設資材、証券、ゴム製品、プラスチック、化学製品、銀行、石油ガス、情報通信、食品飲料、ヘルスケアが含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数も続落となり、前営業日比 8.47 ポイント（3.75%）安の 217.41 ポイントで取引を終えた。

売買高は 8,860 万株、売買代金は 1 兆 3,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。